

水戸市立大場小学校 学校だより  
令和2年度 第17号 2020.10.1

あいさつと笑顔がいっぱい大場っ子  
未来につなげ 大場の絆



# おおばっこ

E-mail 510131@sch.ibk.ed.jp

Tel 029-269-2103 Fax 029-269-2159



## 2学期に向けて リ・スタート



昨日、1学期の終業式を行いました。全校児童が一堂に会したのは久しぶりのことです。式辞では、「思いやり」について話をしました。

私は、この大場小がもっと素敵なおところになることを、みんながもっと楽しく幸せに過ごせる大場小になることを心から願っています。そのために皆さんには、学校で勉強することを通して「判断力」と「行動力」を身に付け、賢くなってほしいと思っています。どんなに頭がよくなったとしても、どんなにお金持ちになったとしても、「思いやり」がなければ幸せにはなれません。本物の賢さは「思いやり」とともにあり、すべての「判断力」「行動力」は、「思いやり」の土台の上になければなりません。

私の考える「思いやり」とは「想像力」のことです。相手の立場を思い描く力です。例えば、何かに困っている人がいたら、「私があの人だったら・・・」と自分事として考える力です。そして自分で何ができるか考え行動する力です。「思いやり」は、元からあるものではなく、学校で友達と一緒に学ぶことを通じて「力」として身に付けていくものです。

先生や仲間たちと一生懸命勉強して、賢く「思いやり」のある人になってください。そして、一人一人がもっと素晴らしい大場小を創り上げる一員として力を発揮してください。

終業式の中で、人権教育担当から「**コロナウイルスと人権**」について講話をしました。

「人権」という言葉を知っていますか。「人権」とは、人間が人間らしく生きる権利で、生まれたときから誰もが持っている大切な「権利」です。それが今、コロナウイルスが原因で、その大切な「人権」が守られなくなっているという悲しいニュースが各地で聞かれます。

コロナウイルスは、目に見えないので、十分気を付けて生活していても、いつどこで感染するかわかりません。もし、あなたやあなたの大切な家族がコロナウイルスに感染してしまったりしたらどうしますか。感染したことをまわりの人から責められたりしたら、とてもつらいですね。コロナにかかった人が誰なのか探したり、噂を流したり、悪口や差別につながる言動をとることは人間として決して許されません。

悪いのは、かかった人ではなくコロナウイルスです。今、大切なことは、コロナウイルスがある中での生活を送りながら、みんなで助け合っていくことです。みんながお互いの「人権」を大切にしながら、安心して過ごせる大場小学校であるために、これからもお互いを「思いやる気持ち」を大切にしていきたいと思います。

茨城新聞 2020年9月30日(水) ☆水戸市特集



**マスク着用  
消毒や換気**

子どもたちが多くの時間を過ごす学校で「新しい生活様式」が進む。水戸市立小中・義務教育学校は、文科省の衛生管理マニュアルに基づき、児童生徒に格別、検温などの健康チェックを求め、「体調チェック表」を提出させるなどしている。

## 「3密」避け、手洗い徹底

感染経路を断つために、密閉・密集・密着の「3密」を避けるとともに、手洗いや咳エチケット、消毒、換気を徹底している。熱中症回避のため体育の授業などを控えて原則、マスクを着用。多くの児童生徒が履けるトランクスやズボンなどは1日1回以上消毒し、エアコンを使用しても30分間に1回は2方向の窓を開け、換気を行っている。給食は机を向かい合わせにせず、会話を控える。

市は、全校が必須とする手指消毒液や液体石けんなどを一括購入しているほか、学習や消毒などに必要な物品を校長の判断で購入できる権限を各校に付与。国の補助を活用し、全48校に支給している。児童生徒の人数に応じ、3000人までの小規模校19校に100万円、5000人までの中規模校16校に150万円を、5000人以上の大規模校14校に200万円を支給している。

「学ぶ環境、新様式に対応」に掲載された本校の様子

## 性教育講演会

9月16日(水)、いはらき思春期保健協会より思春期アドバイザーをお招きし、「心と体の学習会『性教育講演会』」を行いました。5年生を対象に、体の発達についてお話しいただき、自分も友達も大切な存在であること、男女が互いによりよい人間関係を築くことの大切さ等について学びました。保護者の皆様にご参加いただけなかったのが残念でした。

